

1, 災害—その歴史的理解

◎何が“災害”か 参照：厚生労働科学研究成果データベース [201717040B0005.pdf](#)

- ・「災害」の定義については、日本のみならず、海外でも統一した定義を見ない
- ・災害は「自然災害」Natural Disasters と「人的災害」Man-made Disasters に大別
- ・「人的災害」は、さらに「非意図的災害」と「意図的災害」に分類される

☆テイラーの災害分類

Taylor, A. J. W. (1989) : Disasters and disaster stress. AMS Press, New York.

参考：祖田亮次「人文地理学における災害研究の動向」『地理学論集』90-2 (2015)

- ・ 3つの災害要因
自然的 (natural) 産業的 (industrial) 人為的 (human)
 - ・ 5つの災害現象
地 (earth) 空 (air) 火 (fire) 水 (water) 人 (people)
- 両社の組み合わせで様々な災害を理解する考え方

◎日本の歴史上、何が“災害”だったか 参考：『日本歴史災害事典』吉川弘文館、2012

- ・ 古代 地震 火災 噴火 気象災害と飢饉 疫病
- ・ 中世 火災 気候変動、気象災害、戦乱に伴う物流停止と飢饉
地震、津波
- ・ 近世 地震・津波 噴火に伴う降灰、泥流被害
気象災害による大水害 天候不順及び物流停止と飢饉
- ・ 近代 地震 津波 噴火 台風
- ・ 現代 ※近年の災害をどう評価するか

2, 古代・中世の災害記録を読む

3, 近世の災害記録を読む

4, 「災害資料」という考え方—おわりにかえて

<参考>

『吾妻鏡』 治承4年(1180)～文永3年(1266)の鎌倉幕府の正史。

写真は寿永3年正月23日条(1184)。常陸国鹿嶋神社の使者が源頼朝の下を訪れ、同月19日に社僧の夢へ鹿嶋の神が現れて平家と木曾義仲を追罰するため京都に赴くと告げた、翌20日夜に社殿が大震動し空を覆う黒雲の中に一羽の鶏が見えた、と伝えた。平家追討の吉兆譚として書かれている。

『信州越後大地震諸届書』

弘化4年(1847)善光寺地震の被災報告書集成だが、巷間に古した戯歌や戯文も掲載している。特に、地震後に鯰を題材にした戯文等が本格的に登場するのは善光寺地震からと言われており、それを確認できる。

『大地震暦年考』

幕末の開国直後にして安政江戸地震の直後に刊行。古代から安政期に至る日本の災害年表と海外の地震の知識も取り入れた地震概説を掲載する。